

## ガバナー回転持続モードの設定・使用方法

ガバナー回転持続モードはP Cソフトウェア（品番2708）に新たに追加されたモードです。フライト中にスロットルを一番下に下げてもモーターが停止せずガバナー回転をそのまま維持します。MD530は上空をフライトさせる際や風が強い場合、EXPモデルはマイナスピッチを多用する場合に有用な機能です。

安全に配慮し、ガバナー回転持続モードスイッチの切り替えでモーターが回り出すことがないようにしています。

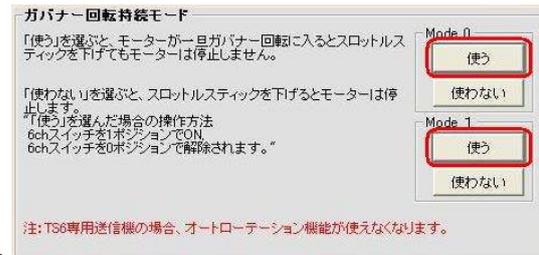
### 1. 設定方法

- 1) PCソフトウェアで機体のデータを読み取ります。※ 1
- 2) 「コントロール設定」 - 「ガバナー」のタブを開きます。
- 3) 「ガバナー回転持続モード」 - 「使う」を選択します。

Mode 0, 1 どちらかのみを設定も可能です。

- 4) 「データ送信」 - 「機体」を左クリックして機体にデータを送信します。

※ 1 PCソフトウェアの基本的な使用方法はP Cソフトウェア取扱説明をご覧ください。



### 2. 使用方法

- ・ガバナー回転持続モードのON,OFFの切り替えはCH 6 スイッチで行います。フライト中にも切り替えが出来ます。
- ・送信機左肩のCH 6 スイッチを 1 (ON、手前)にするとスロットルを一番下にしてもモーターが回転し続けます。
- ・CH 6 スイッチを 0 (OFF、奥)にするとガバナー回転持続モードがOFF になり、スロットルを一番下に下げるとモーターが停止します。

### 3. 使用手順

- 1) ガバナー回転持続モード 0 (OFF、奥)の状態 で機体をスタートさせます。

ガバナー回転持続モード 1 (ON、手前)の状態 で機体をスタートさせることも出来ますが、不意にスロットルが上がってしまった場合、スロットルを下げてもモーターは止まらないため注意してください。

- 2) ガバナー回転持続モードのスイッチを 1 (ON、手前)にします。

- 3) スロットルを上げてフライトします。

フライト中も切り換え可能ですので目線より上をフライトする際は 1 (ON、手前)、着陸させる際や目線より下をフライトする際は 0 (OFF、奥)のように使用しても良いと思います。

- 4) フライト終了時は機体を着陸させてからガバナー回転持続モードスイッチを 0 (OFF、奥)にするか、着陸前にガバナー回転持続モードスイッチを 0 (OFF、奥)にしてから着陸してください。

### 4. 注意点

- ・機体のファームウェアがVer5.39～、PCソフトウェアがVer3.37～で使用できます。以前のバージョンの場合はアップデートをおこなってください。
- ・モーターが回転したまま墜落させると機体の破損が大きくなるため、万一の墜落時には 0 (OFF、奥)にしてください。
- ・EXPモデルの場合はCH6スイッチにAuto Rotationが割り当てられているため、ガバナー回転持続モードを設定するとAuto Rotationが使用できなくなります。（MD530は未設定のスイッチに設定するため機能制限はありません）
- ・送信機左側面のSW POSスイッチが「L」になっている場合はFlyModeスイッチとCH6スイッチの位置が左右逆になります。（出荷時は「R」です）